

Y'S NEWS

2018.12月 vol.16

ワイズニュース

ヘアカラーについてのこんなことあんなこと

前回までは、ヘアカラーの歴史についてお話ししてきました。次は、ヘアカラーの種類とその変遷についてのお話をします。

今回から数回に分けて、現在美容室でよく使用されているヘアカラーの違いについてご紹介していきます。

医薬部外品

- ① 酸化染毛剤（アルカリカラー）
- ② 脱色・脱染剤（ライトナー・ヘアブリーチ）

化粧品

- ③ 酸性カラー（ヘアマニキュア）
- ④ ボタニカルカラー（ハナ・草木染め）
- ⑤ 塩基性カラー（カラートリートメント）

まずは、医薬部外品の①と②を説明します。

① 酸化染毛剤（アルカリカラー）

主成分はパラフェニレンジアミンなどの酸化染料で、使用時に過酸化水素水と混合することにより酸化発色して染毛します。

美容室で最も多く使用されているもので、一般的な白髪染めやおしゃれ染めはこちらです。

長所…一回の使用でしっかり染まり、シャンプーでも色落ちしません。色が長持ちします。

短所…髪が傷みやすく、体質や肌状態によってはかぶれやアレルギーを起こしてしまうことがあります。

●ジアミンアレルギーの怖いところは、これまで何度も酸化染毛剤を使用してかぶれなかった人でも、ある日突然アレルギー症状が出ることもあり、一度症状が出ると一生続くとも言われています。これまで普通に使用していた製品であっても、毎回必ずパッチテストをして、異常を感じたり、過去にかぶれたことのある人には決して使わない事が大切です。

② 脱色・脱染剤（ライトナー・ブリーチ）

酸化染料が配合されていないため、染料によるかぶれはありません。ただし、過硫酸塩が配合されているもの（粉末タイプが多い）は、体質や肌状態によってはかぶれることがあります。

長所…酸化染料が配合されていないため、かぶれを起こすことはほとんどありません。

短所…髪を傷めるおそれがあります。酸化染毛剤などによって、黒や濃く染められた髪の色を完全に脱色することは困難です。

●ブリーチ後は髪が乾燥しやすくなるので、髪のキューティクルを傷めやすく、髪の健康に必要な栄養分や水分が不足気味になるため、トリートメントなどのケアが大事になってきます。

今回はこのへん。つぎはまた次回にご紹介します。お楽しみに！

今年もありがとうございました

関東では、冬とは思えないくらい暖かい日が続いていますが、早いもので平成30年もあと数日で終わろうとしています。

今年も株式会社ワイズをご愛顧いただきありがとうございました。

来年もまたよろしくお願い致します。



年末年始休業のお知らせ



2018年12月29日(土)～2019年1月6日(日)はお休みとさせていただきます。
ご注文については、12月28日(金)の午前受付分まで当日発送いたします。
それ以降のご注文は1月7日(月)の発送となりますのでご了承ください。
ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。

発行：株式会社ワイズ

〒242-0007 神奈川県大和市中央林間3-7-13-3F

TEL. 046-240-9695 FAX. 046-240-9697

月～金 9:00～17:00

土・日・祝 休み

AM受付分は当日発送致します。

